

(別紙 11)

茨城県における出没時の体制構築に係る評価報告  
(出没時の体制構築事業)

1 現状のクマ類の市街地等への出没時の対応体制及び課題等

クマが市街地に出没した際は、県、市町村及び関係機関の連携により注意喚起を行うとともに、目撃や痕跡発見箇所における見回りや追払いによるクマの出没防止を図る。  
また、緊急を要する場合等においては、人的被害防止のため捕獲等を行うこととしている。

2 クマ類の出没時の体制構築に係る具体的な内容等

実施時期	令和 8 年 3 月 5 日
場所	—
目的	今後、県内で緊急銃猟が行われる際、迅速かつ適切な対応を可能とするため、市町村向け実施予定の緊急銃猟訓練にて、机上及び現地訓練の実施を検討していることから、当該訓練にて要する資材を購入する。
参加者・関係者	—
内容	実施予定の緊急銃猟訓練に要する資材（誘導灯、パトロールベスト、メガホン、腕章、ボストンバッグ）の購入をするもの。
方法	入札による
評価方法	—
事業費	83,525 円
備考	

注 1：事業前の計画では各項目について想定又は期待される内容を、事業終了後の評価報告では各項目に関する実績や結果を具体的に記入すること。

注 2：実施主体が市町村の場合、各市町村の実施する具体的な内容を記述すること。

### 3 実施内容の評価

計画どおり緊急銃猟訓練等に要する資材を購入することができた。  
次年度以降は、市町村と連携した訓練を実施すること等により、関係者の役割分担の明確化等を図る。

注1：事業が適切に実施されたか記載すること。

注2：事業の実施により、出没時の対応の流れや関係者の役割分担の明確化、協力関係の構築等が進んだか評価し記載すること。

注3：注1～2による効果検証を踏まえ、事業の設計（事業の質や内容）の妥当性や、事業の実施方法の適切性を評価し、課題と改善の方向性を記載すること。

### 4 その他

特になし

注1：出没防止対策の実施に当たって、特記すべき事項があれば記入すること。

注2：事業終了後の評価報告において、特記事項に対するコメントがあれば記入すること。